

## 選考結果総括表

府省庁名 外務省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)国際交流 基金	理事長	小倉 和夫	72	H15.10.1	在フランス大使 [OB]	安藤 裕康	66	在イタリア大使 [OB]	応募総数 20名 ↓ 書類選考 ↓(5名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任
(独)国際協力 機構	理事	小寺 清	59	H22.4.1	財務省副財務官 世界銀行・IMF合同開 発委員会事務局長(兼 副官房長)[OB]	再任			応募総数 39名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議
	監事	欠員				黒川 肇	53	公認会計士 有限責任監査法人ト ーマツ東京事務所パ ブリックセクター部マ ネジャー	応募総数 18名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

(独)国際協力機構 役員名簿新旧対照表

役職	現任者						任命(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	緒方 貞子	84	H15.10.1	4	H23.9.30	アフガニスタン支援日本政府特別代表 国連難民高等弁務官				外務大臣	
副理事長	大島 賢三	68	H19.10.1	4	H23.9.30	オーストラリア国駐劔特命全権大使 国際連合日本政府代表部在勤				理事長	
理事	黒川 恒男	59	H23.9.1	2	H23.9.30	(独)国際協力機構理事長室長				理事長	
理事	新井 泉	59	H20.10.1	2	H24.9.30	国際協力銀行開発金融研究所長 同 理事				理事長	
理事	市川 雅一	51	H23.8.1	2	H23.9.30	経済産業省大臣官房審議官(戦略輸出担 当) 【役員出向】				理事長	
理事	高島 泉	56	H21.8.1	2	H23.9.30	農林水産省中国四国農政局次長 (独)水産総合研究センター理事 農林水産省大臣官房付 【役員出向】					
理事	佐々木 弘世	60	H22.1.1	2	H23.9.30	(独)国際協力機構人事部長				理事長	
理事	渡邊 正人	54	H23.9.1	2	H23.9.30	外務省大臣官房参事官 (独)国際協力機構総務部長 【役員出向】				理事長	
公募 理事	小寺 清	59	H22.4.1	2	H23.9.30	(独)国際協力機構理事 財務省副財務官 世界銀行・IMF合同開発委員会事務局長 (兼副官房長) 【OB】			再任	理事長	H23.10.1
監事	金丸 守正	61	H19.10.1	2	H23.9.30	(独)国際協力機構人事部長				外務大臣	
監事	松尾 庄一	58	H21.8.25	2	H23.9.30	警察庁近畿管区警察局長 【役員出向】				外務大臣	
公募 監事						欠員 (H22. 10. 1～)	黒川 肇	53	公認会計士 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター部マネージャー	外務大臣	H23.10.1

独立行政法人国際交流基金 役員名簿新旧対照表

公募

現 任 者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役 職	氏 名	年 齢	当初就任 年月日	任 期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年 齢	前 歴		
理事長	小倉 和夫	72	H15.10.1	4	H23.9.30	在韩国大使 在フランス大使	安藤 裕康	66	内閣官房副長官補 在イタリア大使	外務大臣	H23.10.1
理 事	坂戸 勝	62	H21.8.6	4	H23.9.30	国際交流基金参与				理事長	
理 事	櫻井 友行	61	H22.4.1	4	H26.3.31	国際交流基金総務部長				理事長	
理 事 (非常勤)	松尾 修吾	73	H20.8.1	4	H23.9.30	(株)ソニーミュージックエンターテインメント代表取締役会 長 国際交流基金日本語国際センター所長				理事長	
監 事 (非常勤)	鷺尾 悦也	72	H21.10.1	2	H23.9.30	全労済顧問				外務大臣	
監 事 (非常勤)	樋口 幸一	68	H15.10.1	2	H23.9.30	公認会計士				外務大臣	

## (独) 国際協力機構監事 選任理由

本法人の使命は、「全ての人々が恩恵を受ける、ダイナミックな開発」というビジョンの下、技術協力・資金協力等を通じて、開発途上国の経済・社会の開発や復興を支援することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、独立行政法人国際協力機構法等の関係法令等の遵守状況、経理及び契約の適正性及び業務内容の適正性について監査を行い、その結果に基づき理事長又は所管大臣に意見を提出する責務を負っており、当該監査業務を的確に遂行できる十分な能力及び経験を有し、人格高潔で高い倫理観を有する者であることが求められる。

本件公募に対しては、18人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、適任者を所管大臣に提示したところ、黒川 肇氏を選任したところである。

任命理由は、有限責任監査法人トーマツにおいて10年以上にわたり独立行政法人等の監査に携わってきた経験を有するほか、組織の内部統制に関する知見などの職務内容書で必要とされる能力や経験も十分備えていることに加え、開発途上国における調達監査等の実務経験もあることが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、本法人の経営運営改革に向け、監事として内部から現場に近いところで改革を行いたい、と自身の考えが明確であり、所管大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

## (独) 国際協力機構理事

### (組織運営一般、財務・調達、開発援助実務担当) 選任理由

本法人の使命は、「全ての人々が恩恵を受ける、ダイナミックな開発」というビジョンの下、技術協力・資金協力等を通じて、開発途上国の経済・社会の開発や復興を支援することにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、国際情勢や国際的開発課題等に関して広い視野と適切な理解を持ちつつ、組織運営一般、財務・調達、開発援助実務を掌理することが求められる。

本件公募に対しては、39人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た2人を任命権者に提示し、これに基づき、所管大臣との協議を経た上で、任命権者が小寺清氏を選任したところである。

任命理由は、小寺氏は財務省や世界銀行において組織のマネジメントの経験を有し、財務省では主に開発援助の財政などに取り組み、また世界銀行では地域担当局長を含め通算10年余り勤務して開発援助の実務に通暁するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験を十分に有している。また、過去1年強、現職の理事として、本法人の財務・資金管理・調達業務の効率化・説明責任の強化を推進し、また担当地域及び担当分野における事業の積極的な展開に取り組んできたことも、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価された。特に同人は、最新の国際的な開発課題や援助潮流を熟知しており、本法人の運営に対する明確なビジョンとそれを実現する熱意を有している。理事長もそうした能力を引き続き発揮することに期待しているところである。

## (独) 国際交流基金理事長選任理由

本法人の使命は、国際文化交流事業を総合的かつ効率的に行うことにより、我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進し、及び文化その他の分野において世界に貢献し、もって良好な国際環境の整備並びに我が国の調和ある対外関係の維持及び発展に寄与することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、本法人の基本的な経営方針を立案し、外務大臣の定める中期目標及びその達成のための中期計画に基づき、法人全体の運営管理業務を総理することが求められている。

本件公募に対しては、20人の応募があり、選考委員会による書類選考で5人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、他の候補者に比べて極めて高い評価を得た一人を、他の候補者の情報とともに、任命権者である外務大臣に提示し、これに基づき、同大臣が安藤裕康氏を選任したところである。

安藤氏は、外務省在職中、本省及び在外公館の双方において文化交流施策を担うポストを含め、様々な立場において文化交流に関わる政策立案と海外での具体的な交流実施の双方に長年にわたり関与し、また、内閣官房等において日本政府全体の政策の企画・立案、総合調整を行った経験を有しているとともに、外国の関連機関とのハイレベルの交渉・調整に豊富な経験を有する。選考委員会においては、安藤氏は、国際交流基金の総合的かつ効率的な運営を推進していく能力、政府関係省庁を含む国内関係者・機関との論議・調整能力、対外的な代表・意思疎通能力等の観点から高く評価され、最も適任であるとの一致した意見が示され、その旨選考委員長から外務大臣に対して直接報告したところである。

外務大臣は、安藤氏のそうした秀でた能力を認め、国際交流基金を活性化し、官民の関係機関・団体等との連携を密にして日本の文化交流を推進していく最適任者であると判断したものである。

## 選考委員会の属性について

### 【外務省】

- ・独立行政法人国際交流基金 理事長

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・大学教授 1名
- ・団体職員 1名
- ・元大学教授 1名

---

計 3名

- ・独立行政法人国際協力機構 理事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・会社役員 1名
- ・大学教授 1名
- ・ジャーナリスト 1名
- ・公認会計士 1名

---

計 4名

- ・独立行政法人国際協力機構 監事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・大学教授 1名
- ・ジャーナリスト 1名
- ・会社役員 1名

---

計 3名